

第1回WSアウトプットの再編・加工 - 那覇エリアMICEブランドのブランドエッセンス抽出シート

沖縄 MICEブランド エッセンス分類	他市に負けない那覇市の強み	強みの価値化	MICE主催者が得られる（期待できる）価値：ブランドエッセンス
エッセンス 1	（１）沖縄は寛容ですべての人々を受け入れる（万国津梁の思想） ⇒ MICE参加者を結び付けビジネス及び学術交流を促進させます。 - 琉球王国の王都（歴史・文化・芸能・工芸） - 歴史：琉球王国 - 文化：琉球王朝文化・酒造り・伝統菓子・空手・旗頭 - 芸能：琉球舞踊・獅子舞 - 工芸：やちむん（壺屋焼き）・紅型・首里織 - 世界遺産：首里城・識名園 - スポーツ（空手・マラソン・高校野球・プロ野球） - ナイトタイムエコノミー（センペロ・ジャズサロン・クラブ・エンタメ） - 食文化（琉球料理・泡盛・なはまぐろ・伝統菓子・豆腐） - まつり・イベント（那覇大綱挽・NAHAマラソン）	那覇市は「アジアと日本をつなぐ歴史文化都市」として、次のような価値を提供できます。 ・唯一無二の歴史・文化体験（琉球王国文化・世界遺産） ・感動的な演出・芸能による会議や式典の差別化 ・食と酒の文化体験を通じた交流促進 ・スポーツ・祭りとの連動による参加体験型プログラム ・ナイトタイムエコノミーを活用したネットワーキング強化 これにより、那覇は単なる会議の開催地ではなく、「記憶に残るMICE体験の舞台」として、主催者に大きな付加価値をもたらします。	1. 参加者満足度・記憶定着度の向上 琉球王国の歴史文化や世界遺産を舞台とした開会式・表彰式・ガラディナー等は、他都市では実現できない特別感を演出し、「記憶に残るMICE」として、参加者の高い満足度とリピート意向を実現します。 2. プログラムの差別化・ブランド強化 琉球舞踊・獅子舞・工芸体験など、文化資源を活用したユニークなプログラムは、ありきたりなMICEとの差別化に貢献し、「独自性のある会議・イベントを開催した主催」としてのブランドの価値向上を得られます。 3. ネットワーキング効果の最大化 琉球料理・泡盛・那覇のナイトタイムエコノミーを通じ、参加者同士の交流が自然に深まる環境を活用し、会議後の交流機会を豊かに設計することができ、ネットワーク形成・ビジネス創出効果の向上を得られます。 4. グローバル発信力・話題性の確保 那覇大綱挽やNAHAマラソンなど、世界的にも注目される祭りやスポーツイベントとの連携を通して、「国際的に発信力のあるプログラム」として、メディア露出やSNS拡散効果を獲得できます。 5. 地域連携・共創による価値の提供 工芸体験や地元の食文化を取り入れることで、地域住民や事業者との共創を実現し、「地域に根差した持続可能なMICE」として、企業の社会的評価やESG対応の成果を得られます。
エッセンス 2	（２）沖縄が有する自然により創出される非日常的空間 ⇒ MICE参加者ヘインスピレーションを与え、新たなアイデアの創出を導きます。 ・市街地から近いビーチ（波の上ビーチ・手軽にマリンスポーツ） ・アジアの雰囲気（国際通り・栄町市場・公設市場） ・アフターMICEの豊富なコンテンツ ・離島航路（慶良間諸島の自然と便利なアクセス） ・世界遺産（首里城・識名園） ・都市と自然の共存（漫湖・末吉公園） ・景観、街なみ（首里地区） ・気候（年間を通じて温暖・猛暑日少ない）	那覇市の環境的な特徴を活かすことで、次のような価値を提供できます。 ・参加者に都市と自然の両方を楽しめる特別体験を提供できる ・ネットワーキングや交流を自然に深める機会を演出できる ・SDGs・サステナビリティを体現するプログラムを設計できる ・文化景観を活かしたプレミアム感ある会議を実現できる ・比較的過ごしやすい安定した気候により時期を選ばず安心感のある開催が可能になる 結果として、那覇市は「都市の利便性を持ちながら、自然・文化・交流を融合させたMICE都市」として、主催者のイベント成功を強力に後押しします。	1. 参加者満足度を高める「都市×自然」の二重体験 市街地から徒歩圏にビーチ（波の上ビーチ）があり、手軽にマリンスポーツやリラクゼーションを楽しめる環境を活用し、会議とリゾート体験をワンストップで提供でき、参加者満足度の最大化につながります。 2. 多彩なアフターMICEプログラムによる交流促進 国際通りや栄町市場など、アジア的な雑踏や多様な食文化の体験を通じて、「ビジネスセッションの後に自然な交流の場」を設計でき、ネットワーキングやチームビルディング効果を高められます。 3. 都市機能と自然資源の好バランス 国立公園に指定されている慶良間諸島へも短時間でアクセスでき、漫湖・末吉公園といった自然資源も市街地に隣接し、CSR・SDGsやサステナブルMICEの文脈で、環境教育・自然体験をプログラムに組み込むことができます。 4. 文化景観を活かしたプレミアム演出 首里城や識名園、首里地区の街並みが「歴史文化×景観」の舞台を提供し、特別感のある会場やアクティビティを設定することができ、会議やイベントの付加価値とブランド力を向上できます。 5. 快適な気候条件による開催リスクの低減 年間を通じて温暖で、猛暑日が少なく過ごしやすい気候により、季節を問わず安定的にプログラムを設計できる安心感を得られます。
エッセンス 3	（３）アジアと日本のビジネスをつなぐ都市機能・産業基盤と、亜熱帯・海洋島嶼型の先進課題研究の集積 ⇒ MICE参加者のビジネス・研究を前進させる上で必要な環境が備わっています。 ・交通利便性（空港・港・ゆいレール・国際通り） - 全てのアクセス良好 - バスターミナル（沖縄本島各地へのハブ、空港・港へ直結） - 離島へのアクセス（泊港など） - 空港が近い（国内外の玄関口） - アジアを繋ぐ立地（地理的優位性） ・コンパクトシティ（MICE会場近隣・周辺にすべてが集積） - 宿泊施設（大中小規模もバラエティ）が多い - ビジネス街（産業の集積） - 豊富な飲食店（あらゆるジャンルの食事・スイーツが揃う） - アフターMICE・ナイトタイムエコノミー・繁華街 - なはーと ・4つのCがそろってる（コンパクト、コネクト、カルチャー、コミュニケーション）	那覇市の地理的優位性と都市基盤を活用することで、次のような価値を提供できます。 ・参加率を高め、国際的な集客に成功できる ・効率的な運営と高い参加者満足度を同時に実現できる ・目的や規模に応じて最適なMICEを柔軟に設計できる ・地域産業や企業との交流による新たなビジネス成果を創出できる 結果として、那覇は「利便性・効率性・文化性・交流性を兼ね備えた都市型MICEの最適地」として、主催者のイベント成功を強力に後押しします。	1. アクセス利便性による参加者集客力の最大化 空港が市街地から近く港やバスターミナルと二次交通で直結し、アジアの主要都市からのダイレクトアクセスも可能なことにより、国内外からの参加者を呼び込みやすく、参加率の向上と国際的会議・イベントへの集客力強化を実現できます。 2. コンパクトシティによる運営効率の向上 会場・宿泊・飲食・繁華街・文化施設等が集積しており徒歩圏・短時間での移動が用意で、移動の手間や輸送コストを抑えつつ、効率的な運営と参加者の快適性向上を両立できます。 3. 多様な施設・サービスによる柔軟なプログラム設計 大規模から小規模まで多様な宿泊施設とMICE会場の他、多様な飲食・エンタメ環境が完備され、学会・インセンティブ旅行・企業研修・展示会など、目的や規模に応じた柔軟なMICE設計が可能になります。 4. 産業集積を活かしたビジネス機会創出 那覇は沖縄経済の中心であり、IT・観光・物流・医療など多様な産業が集積し、地域産業との連携や展示会や商談機会を創出することができ、MICE主催者・参加者に実益のある成果を提供できます。 5. 「4つのC」で体现される都市ブランド ・Compact（近接性）：効率的で快適なMICE運営が可能 ・Connect（交通結節点）：国内外・離島への優れた接続性 ・Culture（独自文化）：琉球文化を背景とした特別感のあるプログラム ・Communication（交流環境）：豊富な食・ナイトライフ・市街地環境で交流促進 ビジネスイベントの質的価値を高め、参加者の体験を総合的にデザインできます。